

【訃報】

一九九四年七月二十日、まことに残念ながら、前別府大学文学部教授村上允英先生がご永眠されました。享年七十一歳でした。

先生は一九二三年に福岡県田川郡香春町にお生まれになり、旧制佐賀高等学校から九州帝国大学理学部地質学科に進学されました。ご卒業後、一九五一年に山口大学に奉職され、一九八七年に退官、名誉教授を授与されました。この間、日本地質学会副会長をはじめ、学会の要職を勤められ、斯界の中心として活躍されました。その後、一九八八年に別府大学文学部教授に就任され、一九九四年三月、定年を以て退職されました。別府大学では、史学科の重鎮として地理学を教授され、学問に関しては研究者として大変厳格な態度をお示しなる一方、洒脱なお人柄を以て、教職員・学生に大変慕われました。

先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

なお、史学研究会は、先生のご逝去を悼み、また先生の生前のご薫陶に感謝申し上げますべく、『史学論叢』の次号（二十六号）を先生の追悼号として、ご靈前に捧げることに致しました。